

新型コロナウイルス影響下でのボランティア活動について

かつしかボランティア・地域貢献活動センター

新型コロナウイルス感染拡大は、ボランティア活動する人とまわりの人、活動する先などにも影響を及ぼすおそれがあります。そのため、ボランティアグループやボランティアを募集する施設やNPOなどでも、一時的に活動を停止・縮小していて、参加者募集が普段より少なくなっています。新型コロナウイルスが蔓延している状況下においては、

1 ウイルスを持ち込む恐れ

2 ウイルスを持ち帰る恐れ

3 活動に伴う移動によって感染を広める恐れ

があることを十分理解していただいたうえで、ボランティア活動をしてください。相手の方や活動する人自身が安心して安全に参加できるように備えるために、気をつける点に加え、下記のことについて心がけましょう。

・感染予防を徹底しましょう

普段の生活からできることは徹底してやりましょう。手洗い・うがい・マスク着用・消毒・換気・距離を保つ等、感染予防を普段から意識して、活動に備えましょう。

・ボランティア募集されているか確認しましょう

ボランティア・地域貢献活動センターには、施設や団体等からボランティアを募集してほしいと依頼がきます。現在は新型コロナウイルスの影響で募集情報はありますが、少しずつ施設からの募集依頼が来いたり、住民の方からの個人ボランティアの依頼が来いています。まず活動前にボランティア・地域貢献活動センターにどのようなボランティア情報があるか問い合わせてみましょう。

・活動先が決まった場合は、準備するものを確認しましょう

もし、活動先が見つかったら事前にどんなものが必要か確認しましょう。活動先に十分準備される場合もあれば、物資が不足して不十分だったりすることも考えられます。活動先では、準備をしたくとも物資不足やコロナウイルスの対応で疲弊して準備ができないうことがあります。マスクなど自身で準備できるものは準備して、活動先の負担を減らしてあげること意識してみましょう。

・当日の体調を確認しましょう
活動当日に体調の異変を感じたら、活動は控えましょう。基準とされている 37.5° 以上の発熱がある場合はもちろん、それ以外でも倦怠感や味覚障害を感じるようであれば、感染の可能性あることを認識しましょう。

・後日、感染が発覚した場合に備えて、連絡が取れるよう準備しましょう
活動後に、自身に感染が発覚した場合は活動先に速やかに連絡をしましょう。また、活動先で感染が発覚した場合は連絡がきますので、電話番号だけでなくメールアドレス等も伝えておき、なるべく早期に連絡が受けられるように準備してください。

「after コロナ（コロナの後）」を待ち望むだけではなく「with コロナ（コロナと共に）」で取り組んでいかなければならない状況が今後も続いていくと考えられます。このような状況が続くなかで、今何をしなければならないのか、工夫と創意の連続をしながら、できること・必要なことをみなさんと一緒に考えていければと思います。

※活動中の事故に備えるために多くの人が加入している「ボランティア保険」が、活動中の感染であれば新型コロナウイルス感染にも対応するようになりました。活動する前には必ず加入しましょう。なお、会社の研修・業務、学校の授業による参加の場合はボランティア保険の対象となりませんので、新型コロナウイルス感染をカバーする保険に加入して備えましょう。ボランティア保険の手続きはかつしかボランティア・地域貢献活動センターにお問い合わせください。

かつしかボランティア・地域貢献活動センター
電話：5698-2511 FAX：5698-2513
Mail：vc@katsushika-shakyo.com